

神話の高千穂 建国まつり

2月11日、第41回神話の高千穂建国まつり(同実行委員会假屋雅敬実行委員長)が開催されました。

「神々のパレード」には、神様コンテストで選ばれた6人の神様をはじめ、八百万の神々に扮した町民ら30団体約500人が、高千穂神社から榑觸神社までの約1.4kmをパレード。沿道に訪れた地域住民や観光客などにぎわいました。

今年は、かなや前交差点をパフォーマンスエリアとし、「建国まつり」開会前にダンスなどのステージパフォーマンスが行われました。

メイン会場の「SITE MINA(サイトみたい)」では、開会あいさつと神様紹介の後、職場・グループ対抗のまが玉入れ大会が行われ、優勝を目指し熱い戦いを繰り広げました。

また、バザーには、高千穂牛コロッケやうどん、からあげなど14店舗が出店。長蛇の列をつくるなど、多くの人でにぎわいました。



2月28日、第51回高千穂町駅伝競走大会(町スポーツ協会主催)主催が行われ、小学生から一般までの5部門に26チームが参加。町総合公園内を周回する全5区間のコースでタスキをつなぎました。

レースは、総合優勝で3連覇を目指すチームレジェンド(一般の部)が1区で出遅れ、じりじりと順位を上げるものの、若さと力強い走りで勝る高千穂中学校サルチームが29分45秒の記録で、中学生男子部門1位と総合優勝を決めました。

